

各 位

『コンクリート構造物の補修・補強に関するフォーラム』2014

～補修工法選定の考え方と適応性～

のご案内



逼迫する国や地方公共団体の財政状況下における今後の社会資本整備のあり方を考えると、老朽化が進む膨大な社会資本ストックの維持管理費用が益々増大することが容易に推測されます。また建設経済研究所によると、2014年に414万人いる建設就業者が、2025年には214万人にまで減少する恐れがあると試算しています。維持管理に係る技術者の量の確保と、それに伴う質の向上が業界の喫緊の課題となっていることは言うまでもありません。

維持管理分野への注目が高まる中、近年では従来の事後保全型の維持管理から予防保全型への移行が提唱されており、例えば青森県のある試算によると、予防保全を重視して維持管理をした場合、事後保全型の場合に要する費用の約半分であったとの報告事例もあります。予防保全技術を含む維持管理技術全般の周知と向上を図ることにより、限られた予算と技術者で安全な国土を維持することが我々技術者に課せられた責務であると考えます。

そのような状況の中、コンクリートメンテナンス協会ではコンクリート構造物の維持管理技術に関するフォーラムを全国各地で毎年開催しています。今年度のフォーラムでは、コンクリート構造物の劣化メカニズムに応じた補修工法の選定の基本的な考え方に加え、亜硝酸リチウムを用いた鉄筋腐食抑制およびASR膨張抑制の効果的な補修工法に関する新しい知見と実績を中心に解説いたします。また、今年大幅に改定した本協会発行の技術資料の解説も併せて行います。第2部では、『支承狭隘部も施工できる亜鉛溶射技術 (NETIS:CG-130026-A)』の説明。『塗膜型剥落防止システム (NETIS:KK-040054-V)』の紹介も行います。

コンクリート構造物の維持管理業務に携わる皆様の一助となる内容をご提供できると思いますので、ご多忙中とは存じますが奮ってご参加いただきたくご案内申し上げます

記

■主 催：一般社団法人コンクリートメンテナンス協会 (<http://www.j-cma.jp/>)

■後 援：(公社)土木学会、(公社)日本コンクリート工学会、(公社)日本材料学会、(公社)プレストレストコンクリート工学会、(社)日本コンクリート診断士会、(一社)セメント協会、コンクリート構造物の電気化学的防食工法研究会 (CP 工法研究会)、ASR リチウム工法協会
 【建設コンサルタンツ協会】
 (一社)建設コンサルタンツ協会本部、東北支部、中部支部、近畿支部、九州支部
 【測量設計業協会】
 (一社)宮城県測量設計業協会、(一社)東京都測量設計業協会、(一社)岐阜県測量設計業協会、(一社)愛知県測量設計業協会、(一社)鳥取県測量設計業協会、(一社)島根県測量設計業協会、(一社)広島県測量設計業協会、(一社)山口県測量設計業協会、(一社)香川県測量設計業協会、(一社)高知県測量設計業協会、(一社)福岡県測量設計コンサルタンツ協会、(一社)佐賀県県土づくりコンサルタンツ協会、(社)長崎県測量設計業協会、(公社)鹿児島県測量設計業協会

【マスコミ】

(株)建設産業新聞社、(株)中建日報社、(株)九建日報社

(H26.6.11 現在)

■開催日程：平成 26 年度 JCMA 主催フォーラム開催一覧をご参照ください。

■参加申込

1) 申 込 先：(一社) コンクリートメンテナンス協会事務局のホームページよりそれぞれのフォーラムをお申込下さい。<http://www.j-cma.jp/>

2) 参 加 費：無 料

※各会場、定員になり次第締め切らせていただきますのでご了承ください。

■講習会用テキスト

当日のテキストとして、「コンクリート構造物の維持管理 技術資料 ～劣化要因に応じた定量的な補修技術～ Ver3.0」 (1700 円：税込)を事前にホームページからご購入ください。<http://www.j-cma.jp/>

【一般会場】

本フォーラムは土木学会認定CPDプログラムです。(3.6単位)

■開催日程 鹿児島(5/9)、長崎(5/14)、佐賀(5/15)、福岡(5/19)、熊本(5/22)、大分(5/23)、沖縄(5/30)、山口(6/9)、島根(6/12)、鳥取(6/13)、香川(7/1)、高知(7/2)、愛媛(7/4)、愛知(7/18)、岡山(8/7)、北海道(8/21)、新潟(10/2)

■講演内容

第一部 13:00~16:00 講師 江良和徳(工学博士 極東興和㈱所属)
演題「コンクリートの劣化と補修工法選定の考え方 ～亜硝酸リチウムを用いた補修技術～」

第二部 16:10~16:45 講師 中丸大輔(コンクリート診断士 日本ペイント販売㈱所属)
演題「コンクリート剥落防止と塗膜型剥落防止システムについて」

※受付開始 12:00

講師プロフィール

氏 名 江良 和徳(えら かずのり)

所 属 極東興和株式会社 事業本部事業推進部補修課

業務内容 コンクリート構造物の調査、診断、補修、補強業務
アルカリ骨材反応対策に関する研究開発(リチウムイオン内部圧入工)

資 格 博士(工学)

技術士(総合技術監理部門, 建設部門)

コンクリート診断士

コンクリート構造診断士,



氏 名 中丸 大輔(なかまる だいすけ)

所 属 日本ペイント販売株式会社鉄構営業部

業務内容 塗装によるコンクリート塗装材の販売・提案

資 格 コンクリート診断士



【東京・大阪会場】 本フォーラムは土木学会認定CPDプログラムです。(5.2単位)

本フォーラムは土木学会認定CPDプログラムです。(5.2単位)

- 東京会場：6月27日(金) 東京ビッグサイト レセプションホール A(東京都江東区有明 3-11-1)
■大阪会場：8月29日(金) 毎日インテシオ オーバルホール(大阪市北区梅田 3-4-5)

■講演内容

- | | | |
|-----|-------------|---|
| 第一部 | 10:30~12:00 | 講師 江良和徳（工学博士 極東興和(株)所属）
演題「コンクリートの劣化と補修工法選定の基本的な考え方」 |
| 第二部 | 13:00~14:00 | 講師 宮川豊章（工学博士 京都大学大学院工学研究科 教授）
演題「診断（Diagnosis）と予測・予断（Prognosis）について考える。」 |
| 第三部 | 14:00~15:05 | 講師 山本 悟（工学博士 CP 工法研究会、日本防蝕工業(株)技術研究所長）
演題「コンクリート構造物の電気防食工法の紹介」 |
| 第四部 | 15:15~16:20 | 講師 江良和徳（工学博士 極東興和(株)所属）
演題「亜硝酸リチウムを用いた塩害、中性化、ASR の補修技術について」 |
| 第五部 | 16:20~16:50 | 講師 中丸大輔（コンクリート診断士 日本ペイント販売(株)所属）
演題「コンクリート剥落防止と塗膜型剥落防止システムについて」 |

※受付開始 10:00

特別講師プロフィール

【演題】

「診断 (Diagnosis) と予測・予断 (Prognosis) について考える。」

氏 名 : 宮川豊章(みやがわ とよあき)
所 属 : 京都大学大学院工学研究科 教授 工学博士
(経歴)

昭和 48 年 3 月	京都大学工学部土木工学科卒業
昭和 48 年 4 月	京都大学大学院工学研究科土木工学専攻修士課程入学
昭和 50 年 3 月	〃 修了
昭和 50 年 4 月	京都大学工学部土木工学科 助手
平成元年 6 月	京都大学工学部土木工学科 講師
平成 3 年 4 月	京都大学工学部土木工学科 助教授
平成 8 年 4 月	京都大学大学院工学研究科土木工学専攻 助教授
平成 10 年 5 月	京都大学大学院工学研究科土木工学専攻 教授
平成 15 年 4 月	京都大学大学院工学研究科社会基盤工学専攻 教授
現在にいたる	

(主な研究分野)

・コンクリート工学、土木材料、施工、建設マネジメント、維持管理工学など

(主な役職)

・土木学会 コンクリート委員会委員長・日本塗料検査協会理事長・プレストレストコンクリート工学会
会長・日本材料学会会長 などの要職を歴任。

(受賞学術賞)

・土木学会論文賞、日本コンクリート工学会論文賞、日本材料学会論文賞など多数

(著書)

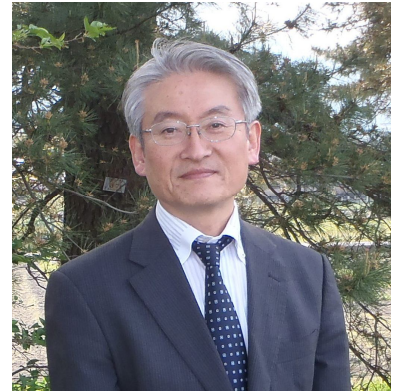
- ・コンクリートのはなしⅠ、Ⅱ など多数



【演題】

「コンクリート構造物の電気防食工法の紹介」

- 氏 名 : 山本 悟 (やまもと さとる)
- 所 属 : 日本防蝕工業㈱ 技術研究所長 博士 (工学)
- 業務内容 : インフラ設備の電気防食、調査、設計、施工、
研究開発
- 資 格 : 博士 (工学)、一級土木施工管理技士、一級電気
工事施工管理技士、防錆管理士
- 所属学会 : 土木学会、日本コンクリート工学会、日本材料学
会、腐食防食学会、日本防錆技術協会、日本沿岸域
学会、日本サンゴ礁学会、日本エルガード協会、コ
ンクリート構造物の電気化学的防食 (CP) 工法研究会
- 備 考 : コンクリート中鋼材の腐食防食に関する機器 (照合電極、腐食センサ、診断器) および電
気防食新工法の開発ならびに設計・施工、土壌中鋼材の腐食防食に関する研究開発に携わ
ってきた。2012 年に「塩害によって腐食したコンクリート中鉄筋の腐食メカニズムおよび
電気防食に関する実験的研究」によって早稲田大学大学院理工学研究科にて学位を取得し
た。



【広島会場】

本フォーラムは土木学会認定CPDプログラムです。(4.8単位)

■開催日程：6月20日(金)

■開催地：広島会場(広島国際会議場 ヒマワリ 広島市中区中島町1-5)

■講演内容(4.5時間)

第一部 10:30~12:00 講師 江良和徳(工学博士 極東興和(株)所属)

演題「コンクリートの劣化と補修工法選定の基本的な考え方」

第二部 13:00~14:00 講師 十河茂幸(工学博士 広島工業大学教授)

演題「コンクリート構造物の長寿命化について」

第三部 14:10~15:40 講師 江良和徳(工学博士 極東興和(株)所属)

演題「亜硝酸リチウムを用いた塩害、中性化、ASRの補修技術について」

第四部 15:50~16:40 講師 中丸大輔(コンクリート診断士 日本ペイント販売(株)所属)

演題「コンクリート剥落防止と塗膜型剥落防止システムについて」

※受付開始 10:00

特別講師プロフィール

氏 名： 十河茂幸(そごう しげゆき)

所 属： 広島工業大学 工学部 都市デザイン工学科 教授

専門分野： コンクリート工学

研究テーマ： コンクリートの製造システムに関する研究

コンクリート構造物の施工技術に関する研究

コンクリートの耐久性向上技術に関する研究

コンクリート構造物の維持管理技術に関する研究

所属学会： 土木学会、日本コンクリート工学会、セメント協会、ほか

著 書： コンクリートのひび割れがわかる本(セメントジャーナル社)

コンクリート診断士試験合格指南(日経コンストラクション)

コンクリート診断士試験重要キーワード100(日経コンストラクション)

他多数



【宮城会場】

本フォーラムは土木学会認定CPDプログラムです。(4.8単位)

■開催日程：7月25日(金)

■開催地：宮城会場(仙台国際センター 大会議室「萩」 仙台市青葉区青葉山)

■講演内容(4.5時間)

第一部 10:30~12:00 講師 江良和徳(工学博士 極東興和(株)所属)

演題「コンクリートの劣化と補修工法選定の基本的な考え方」

第二部 13:00~14:00 講師 久田 真(工学博士 東北大学大学院工学研究科 教授)

演題「(仮)東北地方のコンクリート構造物の長寿命化について」

第三部 14:10~15:40 講師 江良和徳(工学博士 極東興和(株)所属)

演題「亜硝酸リチウムを用いた塩害、中性化、ASRの補修技術について」

第四部 15:50~16:40 講師 中丸大輔(コンクリート診断士 日本ペイント販売(株)所属)

演題「コンクリート剥落防止と塗膜型剥落防止システムについて」

※受付開始 10:00

特別講師プロフィール

氏 名：久田 真(ひさだ まこと)

所 属：東北大学大学院工学研究科 教授 博士(工学)
東北大学インフラマネジメント研究センター長

学 歴：平成2年3月 京都大学工学部交通土木工学科 卒業
平成9年4月 博士(工学)の学位を授与(東京工業大学)

職 歴：平成2年4月 株式会社鴻池組 土木本部 入社
平成3年4月 東京工業大学工学部土木工学科 助手
平成8年5月 東京工業大学工学部開発システム工学科 助手
平成10年3月 新潟大学工学部建設学科 助教授
平成14年4月 独立行政法人土木研究所技術推進部 主任研究員
平成15年4月 新潟大学工学部 講師(併任、平成16.3.31まで)
平成17年4月 東北大学大学院工学研究科 助教授
平成19年4月 東北大学大学院工学研究科 准教授
平成21年10月 東北大学大学院工学研究科 教授
現在にいたる



専門分野：コンクリート工学、維持管理工学

主な研究分野：コンクリート中の物質移動、コンクリート材料の耐久性、コンクリート構造物の維持管理

【新潟会場】

本フォーラムは土木学会認定CPDプログラムです。(5.1単位)

■開催日程：10月2日(木)

■開催地：朱鷺メッセ 新潟コンベンションセンター 中会議室(新潟市中央区万代島6番1号)

■講演内容

第一部 10:30~12:00 講師 持田泰子(一般社団法人セメント協会 所属)

演題「セメント系補修・補強材料の基礎知識」

第二部 13:00~16:00 講師 江良和徳(工学博士 極東興和㈱所属)

演題「コンクリートの劣化と補修工法選定の考え方 ～亜硝酸リチウムを用いた補修技術～」

第三部 16:10~16:45 講師 中丸大輔(コンクリート診断士 日本ペイント販売㈱所属)

演題「コンクリート剥落防止と塗膜型剥落防止システムについて」

※受付開始 10:00

特別講師プロフィール

氏 名：持田 泰子(もちだ やすこ)

所 属：一般社団法人セメント協会 コンクリート普及専門委員会

セメント系補修・補強材料推進 WG 幹事